平成２６年４月発行（2）

FoodSaver®
フードセーバー®

V2244

フードセーバー® 取扱説明書

取扱説明書	このたびは「フードセーバー®」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。 ・ご使用の前に、この取扱説明書をお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。 ・お客様の安全のため、必ず「安全にお使いいただくために」をお読みのうえご使用ください。 ・取扱説明書および保証書は大切に保管し、必要なときにご使用ください。

FoodSaver®
フードセーバー®

© 2015 Sunbeam Products, Inc. doing business as Jarden Consumer Solutions. All rights reserved. Distributed by Jarden Consumer Solutions Japan LLC, Shibaura Square Building, Shibaura 4-9-25, Minato-ku, Tokyo, Japan. One Year Limited Warranty - see inside for details. Sunbeam Products, Inc. and Jarden Consumer Solutions Japan LLC are subsidiaries of Jarden Corporation (NYSE: JAH).

FoodSaver® はSunbeam Products, Inc. の登録商標です。その他商標はそれぞれの権利者に帰属します。
著作登録されている文字・イメージが表示されています。予告無く仕様が変更される場合があります。

輸入元：ジャーデン・コンシューマー・ソリューションズ・ジャパン合同会社
〒108-0023 東京都港区芝浦 4-9-25 芝浦スクエアビル

管理番号：9100260000450
GCDS-FSV39269-SL

www.foodsaverjapan.com

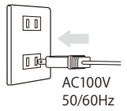
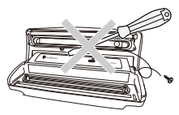
安全にお使いいただくために

フードセーバー® をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みになり、
注意事項・使用方法にしたがって安全に正しくご使用ください。
ケガや事故の原因になりますので、この取扱説明書に記載のない目的・方法では絶対に使用しないでください。

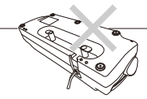
■マークについて
表示内容を守らず、誤ったご使用をされたときに生じる危害や損害の程度を、下のような表示で区分して説明しています。
内容をよく理解してから、本文をお読みください。

マーク ⃠ は、してはいけない「禁止」の内容です。
マーク ❗ は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

⚠警告 「人が死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容

濡れ手禁止 / 感電注意	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない ・濡れた手で電源プラグをコンセントに抜き差ししたり、電源が入った状態の本体を触ったりしないでください。感電の恐れがあります。
禁止	交流 100V の電圧で使用する ・本製品は交流 100V 以外の電源コンセントには使用しないでください。延長コードは使用しないでください。タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。 
禁止	異常な状態では使用しない ・お子様やペットのそばでは使用しないでください。 ・本製品または他の部品を落としたり損傷した場合には、使用しないでください。 ・本製品を異常な状態で使用しないでください。煙が出たり、へんな臭いがするなど、異常な状態で使用すると、火災・感電の原因になります。
水濡れ禁止 / 感電注意	水をかけたり、濡らしたりしない ・火災・感電・ケガを防ぐため、フードセーバー本体、電源プラグ、電源コードを水などの液体に浸けないでください。
分解禁止 / 修理	自分で分解・修理しない ・自分で分解、改造、修理することは絶対にしないでください。破損・故障・ケガ・事故の原因になります。 ・本製品、電源コード、プラグが損傷しているとき、または正しく作動しないときは、巻末にご案内している連絡先に修理を依頼してください。 
禁止	記載のない目的、方法で使用しない ・この取扱説明書に記載のない目的、方法では絶対に使用しないでください。ケガや事故の原因になります。
取扱注意 / 高温注意	・専用パック、パックロールに熱いものを入れないでください。（十分冷ましてから入れてください）やけどの原因になります。

⚠注意 「人が損害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される」内容

取扱注意 / プラグを抜く	電源プラグを抜くときはコードを引っ張らない ・電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って抜いてください。 ・お手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて冷ましてから行ってください。
取扱注意	指をはさまないように ・ふたの開閉時に指がはさまれないように注意してください。 ・水気の多いものをそのまま吸引密封しないでください。本体が液を吸い込み、故障の原因になります。 ・使用直後は、本体の密封用ヒーター部分や袋の密封部分は大変熱くなります。使用中・使用後の取り扱いには充分ご注意ください。やけどの恐れがあります。
プラグを抜く	放置しない ・電源コードをコンセントに差し込んだまま、フードセーバーのそばを離れないでください。
ほこりを取る	ほこりやゴミを取る ・電源プラグに付いたほこりやゴミは取り除いてください。
禁止	本体を逆さ、横倒しで使用しない ・使用時はフードセーバーを逆さにしたり、横倒しにしないでください。 ・使用中に移動させないでください。感電・ケガの原因になります。 
禁止	水気、火気の近くに置かない ・台所の流し台、水気のある場所、油煙や湯気があたる場所、湿気やほこりの多いところでは使用しないでください。火災・感電の原因になります。 ・本体・袋・専用バッグ・専用パックロールを火気の近くに置かないでください。火災の原因になります。
取扱注意	炊飯器使用の注意 ・圧力式の炊飯器では吸引密封したパックを使用する真空クッキングを行わないでください。炊飯器内部が 100℃以上になるため、袋が破裂したり、炊飯器が故障する場合があります。 ・炊飯器を使用する場合は、炊飯器の説明書も併せてお読みください。 ・炊飯器を使用する真空クッキングはお客様ご自身の責任で調理してください。事故・破損について、当社は責任を負いかねます。
禁止	ゴムパッドを研磨剤で拭かない ・黒いゴムパッドを研磨剤などで拭かないでください。故障の原因になります。 ・保存物をオーブンや直火で戻さないでください。
取扱注意 / 高温注意	電源コードの取り扱い注意 ・電源コードは、使用時に束ねないでください。 ・電源コードをテーブルやカウンターの端などに引っかけたり、ドアにはさんだり、ねじったり、もつれさせたりしないでください。破損・故障やケガの原因になります。 ・電源コードをコンロや暖房器具など高温になるものに近づけないでください。電源コードの破損ややけどの原因になります。 ・電源コードを鋭利なものに触れさせないでください。

■ご使用にあたって

本製品は、食品やその他の生活用品を袋に入れ、空気の吸引&密封をおこなったり、保存物によっては、袋の密封のみをすることにより効果的に保存するものです。
●食品を保存するときは、空気の吸引&密封をおこない、冷蔵庫や冷凍庫に保存してください。
●空気を抜いて密封しても、鮮度は少しずつ劣化します。早めの消費をお勧めします。
●本製品はあくまでも鮮度を保つものであり、殺菌作用はありません。保存には十分ご注意ください。
●業務用などで使用されている、強力な真空ポンプにより空気を抜き取る方法とは異なります。完全な真空状態にはなりません。

■ご使用上の注意

●お客様の不注意による破損・故障・ケガ・事故・火災に対する責任は負いかねますのでご了承ください。
●取扱説明書の使用ガイドライン、および指示が守られない場合は、当社は一切の責任を負いかねます。
●使用前に、製品が破損していないか点検してください。
●本製品はおもちゃではありません
●お子様や監視・監督が必要な人によるご使用はおやめください。
●使用者以外の人、ペット、植物のそばでは使用しないでください。
●付属品以外のものを本体に取り付けないでください。
●本製品は屋内で使用するものです。絶対に屋外では使用しないでください。
●故障したり、または故障と思われる場合は、使用しないでください。
●製品が破損したとき、または製品に異常を感じたときは、直ちに使用を中止してください。

■本製品の用途について

●本製品は一般家庭で個人が使用するために製造された製品です。業務用としての使用は絶対にしないでください。

■保管と廃棄について

●本製品は安全で乾燥した場所に保管し、次のような場所には保管しないでください。
・極端に高温、低温、多湿になる場所　・ほこりが多い場所　・お子様の手の届く場所
・野外、直射日光のあたる場所　・油煙や湯気のあたる場所
●保管の際は、グリース、油、泥、氷雪、未乾燥の塗料、または他の滑りやすい物から遠ざけてください。
●保管の際は、清潔に保ち、有害物から遠ざけてください。
●保管の際は、必ず平らで安定した場所に保管してください。
●本製品を廃棄するときは、各自治体の指示に従い、適切な方法で廃棄してください。

■保守と点検について

●事故防止のため、当社が推奨、または販売している部品のみ使用してください。
●部品が破損、または紛失した場合は、当社にて修理してから使用してください。
●故障、劣化、または火や化学物質で腐食した場合は、使用しないでください。

●お願い

使用方法を誤りますと、機器を傷めたり、故障の原因になります。
●続けてパックする際は、最低 20 秒は休ませてください。休止時間をおかずに連続して使用すると、
保護センサーが働き、数分作動しなくなることがあります。
●密封用ヒーター、吸引溝、吸引口は常にきれいな状態で使用してください。
●一般のポリエチレン袋では空気の吸引はできません。密封のみの使用は可能です。
吸引＆密封する場合は、必ず専用パックまたは専用パックロールを使用してください。
●密封パックした食品を電子レンジで調理する際は、袋の角を切って加熱してください。

はじめに

フードセーバー® をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
フードセーバー® は、真空状態にして空気の侵入を防ぎ、
食材や身の回りのものを酸化・腐食・湿気から守るためにご利用いただけます。
一人暮らしの方からご家族まで、さまざまな方に幅広い用途でお使いいただけます。

また、安全に効率よくお使いいただけるよう、安全上の注意事項や使用方法を記しています。
ご使用前に必ずお読みください。

保証書は本書巻末にあります。
本書を紛失しないよう、いつでも手にとれる場所に保管してください。

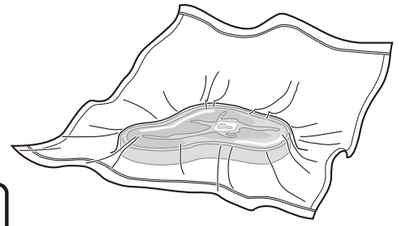
■もくじ

安全にお使いいただくために……2
はじめに……5
フードセーバー® の特長……6
付属品について……7
各部の名称とはたらき……8
ご使用方法……9
袋をつくる / 密封する ……10
空気の吸引＆密封する ……11
専用パックロールを切る ……12
上手な保存方法のヒント ……13
解凍・調理する ……14
別売品 ……14
保管とお手入れ ……15
こんなときには ……16

フードセーバー® の特長

生鮮食料品は空気に触れると栄養価、色、香り、みずみずしさ、品質が劣化します。
フードセーバー® は専用バッグ / 専用パックロールを使って空気を抜き、密封パックすることで、食品の鮮度の低下や、酸化による品質の劣化を軽減します。

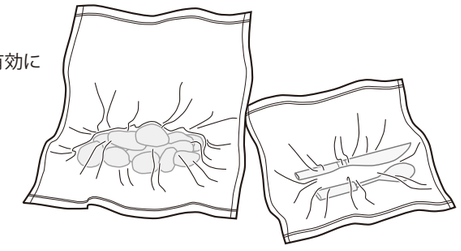
●鮮度・香り・成分を長く保つ



肉、魚介などを密封することでニオイ移りを防止します。
- ・冷凍時の霜付き防止に
- ・冷蔵時の鮮度維持に
- ・もち、粉末類、茶葉、乾物の湿気・害虫防止に

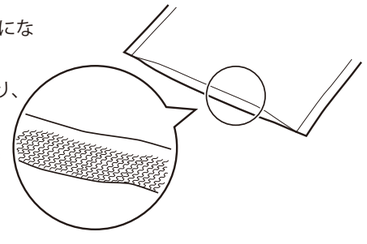
⚠注意
- ・本製品は食品の鮮度や酸化による品質の劣化を軽減するものです。保存した食品の安全性を保証するものではありません。
- ・業務用の完全密封真空パック類とは能力が異なります。ご了承ください。

●お金・時間・労力をセーブ



材料をまとめ買いし、賢く保存することでお金と時間を有効に使えます。
- ・材料の下ごしらえに
- ・できあがった料理の保存に
- ・茶葉・乾物の保存に
- ・余った食材の保存に
- ・アウトドアの移動時に
- ・汚れ・害虫防止に
- ・酸化による黒ずみ防止に（銀食器など）

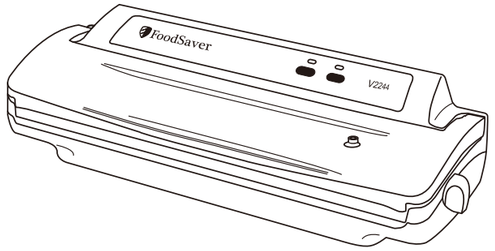
●専用の袋で強力密封



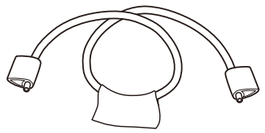
独自開発された専用の袋によって、空気を強力に吸引することが可能になりました。
- ・袋の特殊構造により、内容物の形状に関係なく空気の抜けがよくなり、密封度がアップします。
- ・外側のナイロン層は新鮮さを閉じ込め、空気と湿気を閉め出します。

付属品について

フードセーバー® 購入時に同梱されている付属品について説明します。

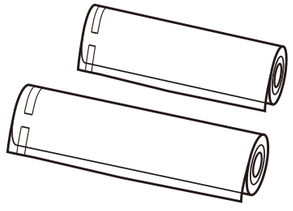


●フードセーバー® V2244



●アクセサリーホース

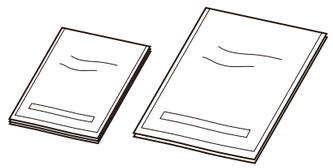
キャニスター (別売)、真空ボトルストッパー (別売) で吸引するときに使用します。



●専用パックロール

パックするときに使用します。
食品の大きさに合わせてカットして使用します。
(横 200mm× 長さ 3m)
(横 280mm× 長さ 3m)

材質：ポリエチレン、ナイロン、ポリオレフィン
耐熱温度：100℃
耐冷温度：-40℃



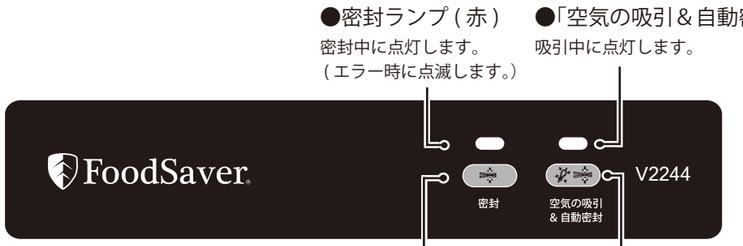
●専用バッグ

パックするときに使用します。
すぐに使える袋タイプです。
(横 200mm× 縦 280mm)
(横 280mm× 縦 350mm)

材質：ポリエチレン、ナイロン、ポリオレフィン
耐熱温度：100℃
耐冷温度：-40℃

各部の名称とはたらき

フードセーバー® 本体各部の名称と機能について説明します。

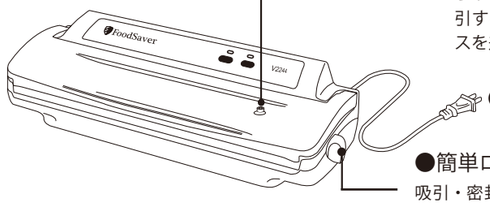


●密封ランプ (赤)
密封中に点灯します。
(エラー時に点滅します。)

●「空気の吸引＆自動密封」ランプ (緑)
吸引中に点灯します。

●密封ボタン
専用パックロールから袋を作るときや、スナック菓子などの袋を密封するときに使用します。

●「空気の吸引＆自動密封」ボタン
専用バッグ / 専用パックロールで吸引密封するときに押します。

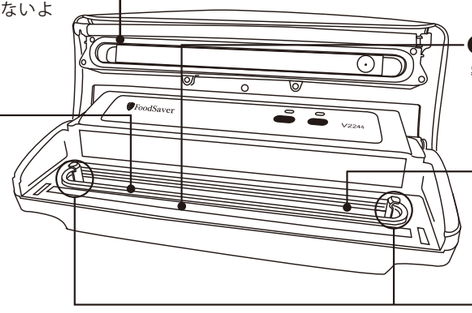


●アクセサリーホース差し込み口
キャニスター (別売)、真空ボトルストッパー (別売) で吸引するときにアクセサリーホースを差し込みます。

●電源コード

●簡単ロックレバー
吸引・密封前に、レバーを下ろし、ロックしてから、「空気の吸引＆自動密封」ボタンを押してください。

●スポンジ
吸引、密封時に袋が動かないように固定します。



●密封用ヒーター
密封時に熱を加えるヒーターです。

●ゴムパッキン

●吸引溝
吸引するとき、袋から空気を抜くための溝です。

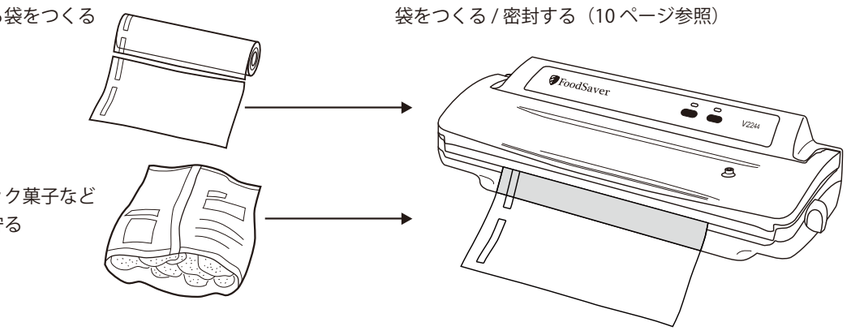
●吸引口
吸引するとき、空気を抜くための穴です。

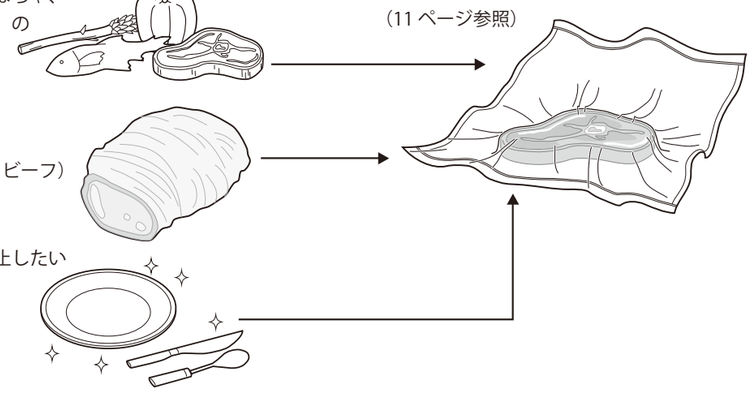
⚠注意
使用前に吸引溝に入っている梱包用クッション (3 個) を外してからご使用ください。

ご使用方法

フードセーバー® の目的別の使い方を説明します。詳しくは参照先のページをご覧ください。

目　的	使い方
パックロールから袋をつくる	袋をつくる / 密封する（10 ページ参照）
食べかけのスナック菓子などの袋を湿気から守る	
肉、魚、野菜（かぼちゃ、アスパラガスなど）の鮮度を保つ	空気の吸引＆密封する（11 ページ参照）
真空クッキング（浅漬け、ローストビーフ）	
銀食器の変色を防止したい	





袋をつくる / 密封する

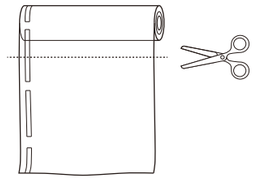
ご使用前に、2 ページ「安全にお使いいただくために」をよくお読みください。

1. 電源プラグをコンセントに差し込む

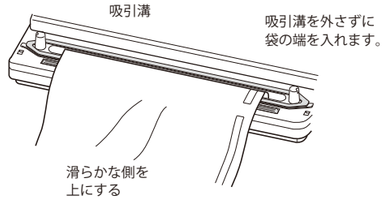
2. 密封する

1 専用パックロールを使う場合は、適切な長さにカットする

ロールに沿ってまっすぐハサミで切ってください。

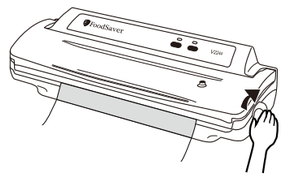


2 セットする



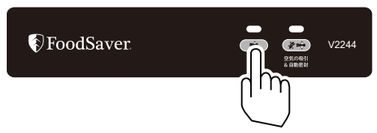
3 フタを閉め、右の簡単ロックレバーを回し、ロックする

フードセーバーのふたを下げ、レバーを回し、“カチッ” と音がするまで確実にロックしてください。



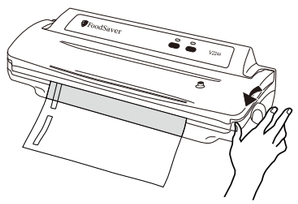
4 密封ボタンを押す

密封ランプ (赤) が点灯します

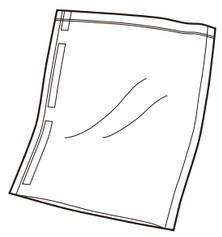


3. 取り出す 密封ランプ (赤) が消灯したら、密封完了です。

1 右の簡単ロックレバーを手前にまわし、ロックを解除する



2 袋を取り出す



4. 電源プラグをコンセントから抜く

重要 密封直後は、密封用ヒーターや密封された部分に触れないでください。

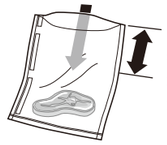
空気の吸引＆密封する

ご使用前に、2 ページ「安全にお使いいただくために」をよくお読みください。

1. 電源プラグをコンセントに差し込む

2. 空気の吸引＆密封する

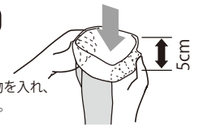
1 専用バッグ / 片側を密封した専用パックロールに食品を入れる



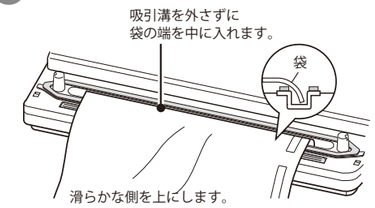
密封する位置まで約 10cm の余裕が必要です。

☆密封性を向上するには

※密封部に保存物が付着すると、密封できない場合があります。
※袋の口約 50mm を折り返し、保存物を入れ、戻して使用することをお勧めします。



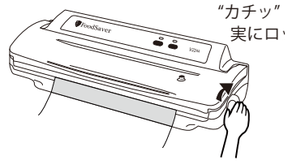
2 セットする



※正しくセットしないと吸引できません。
※水分の多いものを吸引しないでください。

3 フタを閉め、右の簡単ロックレバーを回し、ロックする

フードセーバーのふたを下げ、レバーを回し、“カチッ” と音がするまで確実にロックしてください。



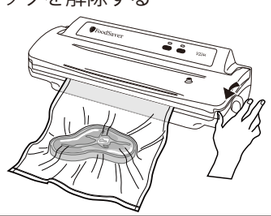
4 「空気の吸引＆自動密封」ボタンを押す

・吸引ランプ (緑) が点灯し、吸引が開始されます。吸引が終了すると消灯し、続いて密封ランプ（赤）が点灯します。
・吸引の途中で中止するときは、「空気の吸引＆自動密封」ボタンをもう一度押します。

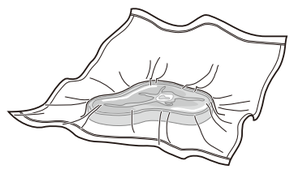
＊柔らかい食品を保存する場合：
食品が潰れないところで吸引を止め（「空気の吸引＆自動密封」ボタンを押す）、その後、右横の「密封」ボタンで密封をおこなってください。
＊その場合は完全な真空にはなりません。

3. 取り出す 密封ランプ (赤) が消灯したら、密封完了です。

1 右の簡単ロックレバーを手前にまわし、ロックを解除する



2 パックを取り出す

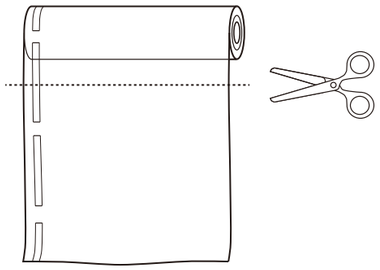


4. 電源プラグをコンセントから抜く

重要 密封直後は、密封用ヒーターや密封された部分に触れないでください。

専用パックロールを切る

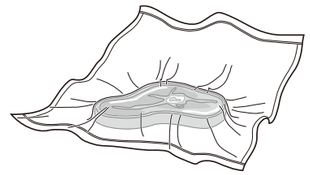
●ハサミで切る



・専用パックロールに沿って、まっすぐ平行に切ってください。
斜めになっていると密封用ヒーターの上に乗らない部分ができ、密封できない場合があります。
また、パックするものよりも 10cm 以上の余裕があると、きれいにパックできます。

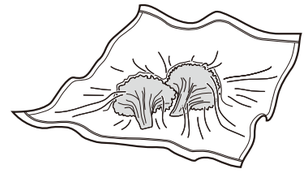
上手な保存方法のヒント

●肉・魚



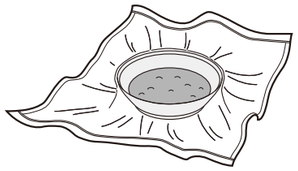
・肉汁などが多くてパックできない場合は、ペーパータオルで水分を取り除いてから袋に入れてください。
・においうつりや、冷凍やけ防止に役立ちます。
・冷蔵庫の保管だけでなく、吸引密封した肉・魚をクーラーボックスに入れて、アウトドアに持って行くこともできます。

●野菜



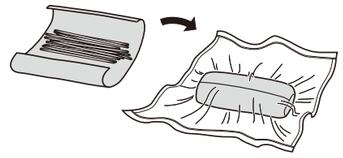
密封保存する前に軽くゆでることによって、鮮度、色、香りを劣化させる酵素の活動を遅らせることができます。ただし、ゆですぎにご注意ください。
新鮮なうちに沸騰したお湯でゆでるか、電子レンジで加熱してください。その後冷まして水分を取り除いてから吸引密封します。
・使用分ごとに小分けしてパックすると調理時に便利です。
・香りの強い野菜はガスを発生させますので冷凍庫で保存してください。

●液状の食品



カレーやシチューなどはキャニスター (別売) をご利用ください。専用バッグ / 専用パックロールを利用する場合は、深皿やバットに入れて事前に凍らせてから吸引密封します。

●その他の食品



・米、パスタのようにとがった部分がある場合はペーパータオルなどのクッション材で包んでから吸引密封します。
・角のある箱状のパッケージは袋に穴が開くことがあります。角のないものに移し替えてから吸引密封します。
・小麦粉や粉末状のコーヒーなどは吸引口から吸い込まれないように、パッケージごと専用バッグに入れて吸引密封します。
・シュークリーム、いちごなど柔らかい食品を保存する場合は、キャニスター (別売) をご使用ください。専用バッグ / 専用パックロールで保存する場合は、P11「柔らかい食品を保存する場合」をお読みください。

●食料品以外

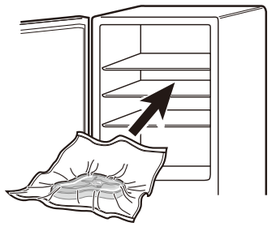
食品以外のものでも、酸化 / 腐食 / 湿気から守るために利用できます。
・銀食器・銀製品：空気に触れないことで黒ずみを防止できます。フォークなどとがったものはペーパータオルで包んで吸引密封します。
・アウトドア用品：衣類や道具をコンパクトにまとめられます。また、水漏れ防止にもなります。
・緊急時用品：ライト、電池、ろうそく、マッチなどをひとつの袋にまとめてパックし、常備できます。

⚠注意

・大量の水分が流れ、パックできない場合はあらかじめ冷凍してから吸引してください。水分が吸引口に流れ込み、故障の原因になります。
・ろうそくなどは、温度上昇により形が崩れる場合があります。高温にならない場所に保管してください。

解凍・調理する

●解凍



冷蔵庫内で解凍します。常温では解凍しないでください。
電子レンジを使う場合は、袋の角を切ってください。

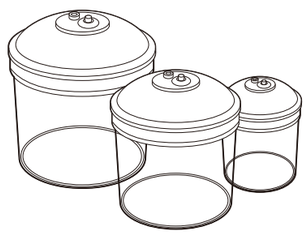
●湯せん

専用バッグ / 専用パックロールは、湯せんによる加熱・調理をおこなうことができます。
※沸騰寸前のお湯（100℃以下）で調理してください。

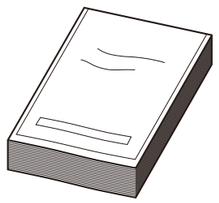
●電子レンジで調理

電子レンジで温める場合は、袋の角を切ってください。

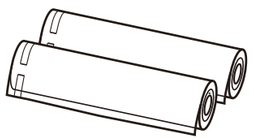
別売品



・キャニスター 3 点セット



・専用バッグ



・専用パックロール

別売品に関するご質問は下記の「カスタマーサービスセンター」までお問い合わせください。

お問い合わせ先

カスタマーサービスセンター

0120-36-2040

受付時間　平日10:00～18:00（祝日、年末年始を除く）

保管とお手入れ方法

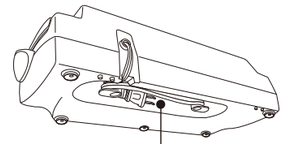
保管とお手入れ方法について説明します。

⚠警告

・お手入れを始める前に、電源コードがコンセントから抜けていて、密封ヒーターが常温になっていることを必ず確認してください。
・火災、感電、ケガを防ぐため、フードセーバー® 本体、電源プラグ、および電源コードを水などの液体に 浸けないでください。

●本体の保管

電源コードは本体底面のコードホルダーに巻きつけて保管してください。
スポンジやゴムパッキンを保護するため、右側の簡単ロックレバーを解除して、ロックが外れている状態で保管してください。



コードホルダー

⚠注意

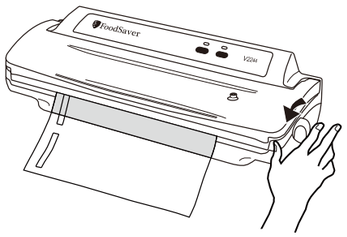
フードセーバー® を持ち運ぶときは、フードセーバー® 本体の下側を持ってください。ふたの部分を持つと、本体が開き、破損・故障・ケガ・事故の原因となります。

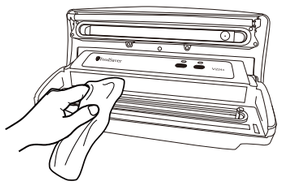
●本体のお手入れ

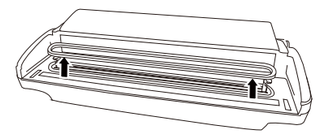
プラスチック部分は、水を含ませ硬く絞ったやわらかい布で汚れを拭き取ります。汚れがひどい場合は薄めた台所用中性洗剤を含ませた布で拭いたあと、乾いた布でから拭きしてください。

本体の密封用ヒーター部分やスポンジ部分はデリケートです。破損させないようにていねいに拭き取ってください。
お手入れのあとは、完全に乾かしてから使用してください。

吸引溝は図のように取り外すことができます。本体のプラスチック部分を同様に拭いてください。







こんなときには

フードセーバー® 使用時のトラブル対処方法について説明します。

現　　象	原　　因	対処方法
作動しない。	電源コードがコンセントに接続されていない。	電源コードをコンセントに正しく差し込んでください。
	コンセントの電源がきていない。	ヒューズ、またはブレーカーを確認してください。
	連続して使用したため、保護センサーが動いて動作が停止した。	連続して使用する場合は、ふたを開けた状態で 20 秒以上、使用間隔をおいてください。
	ふたが正しくロックされていない。	11 ページ「空気の吸引＆密封」の手順に従って、操作し直してください。
密封できない / 密封ボタン点滅。	密封する袋の端が吸引溝に入っていない。	
専用バッグ / 専用パックロール内の空気を吸引できない。	袋の開いているほうが吸引溝に正しく入っていない。	11 ページ「空気の吸引＆密封」の手順に従って、操作し直してください。
	袋に穴が開いている。	新しい袋に交換してください。
	接着した部分がしわになっている。	密封部分をカットし、密封し直してください。
	本機以外の機器で接着した。	本機で密封し直してください。
吸引後 専用バッグ / 専用パックロール内に空気が入ってくる。	接着面が食品から近すぎる。	密封部分をカットし、 密封し直してください。 食品と接着面が 10cm 以上離れた状態にしてください。
	食品の水気や食品の一部が接着部分に付着している。	密封部分の水分や食品を取り除き、密封し直してください。
	袋に穴が開いている。	とがったものを密封すると穴が開くことがあります。 とがった部分をペーパータオルなどでくるんで吸引密封してください。
専用バッグ / 専用パックロールが溶ける。	密封 用ヒーターが熱くなっている。	フタを開けた状態で 20 秒以上おいて、冷却させてください。
専用バッグ / 専用パックロールが密封できない。	連続して使用したため、保護センサーが働いて動作が停止した。	連続して使用する場合は、フタを開けた状態で 20 秒以上間隔をおいて、冷却させてください。

■仕様

型名	フードセーバー® V2244		
電源	100V 50/60Hz	消費電力	100W
外形寸法	約 420X154X100mm	重量	約 1.67kg
使用可能な袋	専用バッグ、専用パックロール		

保証書

この度は当社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
この保証書は、保証期間中に故障が発生した場合には、下記の無料修理規定にしたがって無料修理を行うことをお約束するものです。
この製品が、万一保証期間内に故障した場合は、カスタマーサービスセンターにご連絡願います。
保証期間内に限り無料にて修理させていただきます。（ご返送の際に発生する送料はお客様のご負担となります。）
※修理を希望される場合、本書とフードセーバー® のお買い上げ証明（お買い上げ明細書、レシート、領収書など）の提示が必要となりますので、保証書とお買い上げ証明を大切に保管してください。

【品名：フードセーバー® V2244】

お客様ご氏名：　　様

お客様ご住所：〒

お客様電話番号（購入時）

ご購入日：　　年　　月　　日

保証期間：ご購入日より 1 年間

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明な点がありましたら、下記の当社カスタマーセンターにお問い合わせください。

無料修理規定

1. 取扱説明書・本体貼付ラベル等の注意書きにしたがった使用状態で故障　した場合は、保証期間内に限り無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
   (a) 本書の提示がない場合
   (b お買い上げ明細書がない場合および本書の字句を書き替えられた場合。
   (c) 使用上の誤り、または不当な修理・改造による故障および損傷。
   (d) お引き渡し後の輸送・落下・水濡れ等による故障および損傷。
   (e) 火災・公害・異常電圧および地震・落雷・風水害・その他の天変地異による故障および損傷。
   (f) 過酷な条件のもとで使用されて生じた故障および損傷。
   (g) 故障の原因が本機以外にある場合。
   (h) 付属品等の消耗品の交換。
   (i) 車輌船舶などに搭載されて生じた故障および損傷。
   (j) 一般家庭用以外の用途（業務用など）で生じた故障および損傷。
   (k) 取扱説明書に記載された「安全のご注意」を守られていない場合の故障。
3. 直接修理窓口へ送付した場合の送料等や出張修理を行った場合の出張料等は、お客様の負担となります。
4. 消耗品は保証対象外となります。
5. 本製品の故障に起因する付随的損害については責任を負いかねます。
6. 保証に関して不明の点がありましたら、当社カスタマーサービスセンターにお問い合わせください。
7. 本書は日本国内においてのみ有効です。
8. 本書は再発行しませんので大切に保管してください。

お問い合わせ先

カスタマーサービスセンター

0120-36-2040

受付時間　平日10:00〜18:00（祝日、年末年始を除く）

輸入元：ジャーデン・コンシューマー・ソリューションズ・ジャパン合同会社
〒108-0023 東京都港区芝浦 4-9-25 芝浦スクエアビル